名道研だより　**第３６号**

心輝け 子どもたち！

発　行
平成２６年３月１１日
名古屋道徳教育研究会
広　報　部
meidouken.com

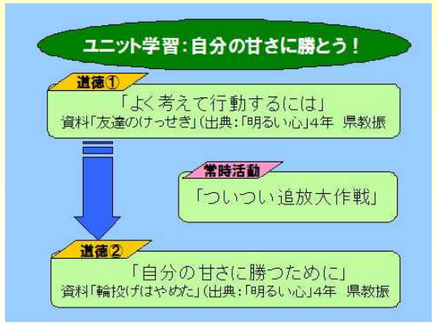
名古屋市道徳研究会研究発表会　開催
１月２９日（水）教育館にて

テーマ研究部会　テーマ「道徳的実践力を高める道徳教育」－道徳の時間を複数時間関連させることを通して－

複数の道徳の時間を各教科等と関連させる「ユニット学習」を通して、自分との関わりの中で道徳的価値への考えを深めさせることができると考え、研究を進めました。

ユニット学習の組み方
－小学校4年生－

子どもたちに特に学ばせたい道徳的価値として「勤勉・努力・不とう不屈」を選び、「ユニット学習」を組みました。



道徳②の授業の様子について

資料を通して、ついつい負けそうになる主人公の気持ちに共感させることができました。
また、展開後段では、自分の経験を振り返ることで節度に対する考えに深まりが出たように感じられました。

ユニット学習を行うことで、自分の経験と結び付けて考えさせることができ、道徳的価値を自分のこととして捉えることができるようになりました。
今後は、道徳的価値について継続的に考えさせる手だてを工夫し、さらに道徳的実践力を高めたいと考えます。

授業づくり研究部会　テーマ「子どもが“ときめく”道徳の授業」－自ら考えたくなる指導方法の工夫を通して－

子どもが夢中になって、自ら考えたくなるような道徳の授業を目指すには、子どもたちの集中力が持続する指導の工夫が必要だと考え、研究を進めました。

- **資料提示の工夫**・「紙芝居」「写真」
- **発問の工夫**・「心に語り掛ける発問」
- **話し合いの工夫**・「グラフと吹き出し」
- **表現活動の工夫**・「役割演技」
- **板書の工夫**・「心情曲線」
- **書く工夫**・「短冊」

黒板に心情曲線を書くことで登場人物の気持ちの変化を視覚的に捉え、理解しやすくなり、集中力を持続させることができました。

様々な指導の工夫を通して、集中力を持続させることができ、自己の生き方について意欲的に考えようとする姿を引き出すことができました。
今後は、今回は取り上げなかった「説話」によって、さらに子どもが“ときめく”姿を追求したいと考えています。

♪♪今、咲き誇る花たちよ♪♪

名古屋市道徳研究会顧問校長
陽明小学校長　安田　隆

２月には、コブクロのこの曲で盛り上がったソチ五輪が行われました。選手たちの熱いドラマが人々の心を打ち、多くの感動を呼びました。一つ一つ積み重ねてきた汗と涙と努力は、私たちに勇気と希望を与えてくれました。

私は、*「花たち」*を、学級・学年・学校における様々な立場で、子どもたちの心に一つ一つ種を植え、それを育てようと日々奮闘している皆さんに例えたいと思います。

「道徳」の教科化は、間近に迫っています。しかし、教科となっても、学級担任が「道徳教育の要としての道徳の時間の指導をする事」「学校教育全体を通じて道徳教育が行われる事」に変わりはありません。それだけに、これまで、市の道徳教育の中心となって貢献してきてくださった*「花たち」*の役割は大変に重要です。

そこで、私は、「道徳」の教科化へ向けて、次の三つの事を提言したいと思います。

① **基礎基本となる内容**（「主発問とは？」「導入の目的は？」「価値の主体的自覚とは？」「道徳的実践と道徳的実践力の違いは？」等）**を整理して、理論的な押さえの共有化を早急に図る事。**
② **色々な手法**（「表情絵・役割演技の使い方は？」「話し合いのさせかたは？」「子どもたちの話し合いが深まる方法とは？」等）**を整理し、技術的な押さえの共有化を図る事。**
③ **一番大切にしてほしい事です。それは、子どもたちが発している声に謙虚に耳を傾け、一緒に悩み、考えようとする温かい姿勢をもった仲間を増やす事。**

「今、咲き誇る花たちよ」　まだまだ、課題は多いですが、
ソチ五輪で闘った選手たちが与えてくれた、夢と希望を大切に、頑張れ！！！！！！！！！！

発表会当日は、多数のご参加をいただきました。ありがとうございました。

指導・助言

名古屋市教育委員会
指導室指導主事
橋本吉太郎先生

道徳の教科化に向けて、大切にしてほしいことがあります。まず、授業は学級担任と子どもで作るということです。子どもへの受容態度、発言しやすい雰囲気を作ってほしいと思います。次に、子どもの本音、人間の弱さに迫りながら、行動の難しさに気付かせるような指導の工夫をしてほしいと思います。

そして、補充・深化・統合を大切にして道徳の授業に取り組むこと、発問の構成が子どもたちの価値・人間・他者理解につながっているか検証することを心がけてほしいと思います。

教師が教室の「太陽」となって、子どもたちの心に残る「道徳の授業」を作ってください。

名古屋市教育センター
指導主事
梶田　勉先生

道徳の教科化の流れについて、確認します。

1　教育再生実行会議が平成２５年２月の第一次提言において、道徳教育の重要性を改めて認識し、教科化することを提言した。
2　平成２５年３月「道徳教育の充実に関する懇談会」が文部科学省に設置され、平成２５年１２月２６日、報告をまとめた。
3　「心のノート改訂作業部会」では「心のノート」を「私たちの道徳」とし、平成２６年度から小中学生に配布することが決定した。

私たちは、国レベルの議論の動向を注視しながら、今の道徳の時間を子どもたちと一緒に変わらず創り挙げる気持ちをしっかりもつとが大切だと考えます。